

いっしょに考えてみませんか?

# 大阪市民は「ぜいたく」してた? 大阪市は「お金がない」?

## 「500億円(年間)の 収支不足」って?

大阪市は昨年までの「収支不足」は年間約100億円と言っていました。

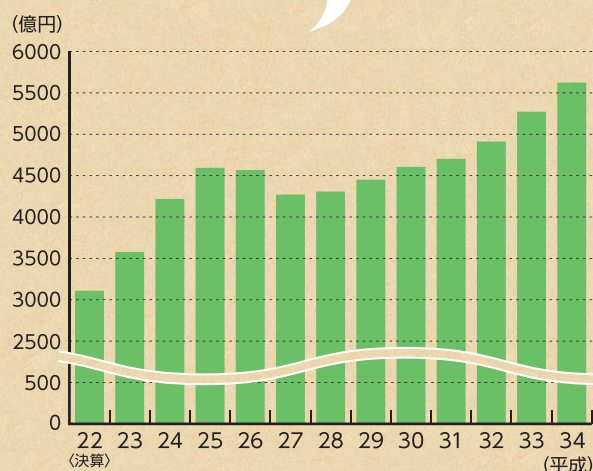
橋下市長になって急に年500億円も不足すると言って危機感をあおっていますが、これはまやかしです。毎年約150億円以上もある土地の売却代を収入に含めず、約1000億円もある貯金(都市整備基金)の活用をあえて外して「収支不足」を増やしたのです。

## 大阪市にはこんなに 貯金・資産がある

大阪市は貯金(公債償還基金)を4000億円以上も貯めています。10年後には5000億円を超える見込みです。これを横浜市のように一時活用すれば市民サービスを切り捨てる必要はありません。

市営地下鉄は毎年黒字です。民営化しなければその黒字は大阪市の収入として活用できます。

公債償還基金  
満期一括積立残高の推移(見込)



## リニアやカジノの 資金に回る?!

この「素案」が実行されれば3年間で1768億円のお金を作り出されます。橋下市長の言う「現役世代向けに重点配分」(妊婦健診などの充実)を実施しても3年間で300億円しかかかりません。この差額をリニアやカジノに回そうとしているのではないのでしょうか。

## 地震・津波対策 こそ必要

東海・東南海・南海地震は、いつ大阪を襲うかもしれない状況になっています。市民の命と財産を守るため、地震・津波対策の公共事業に直ちにとりくむ必要があります。



## 見えてきた「独裁」

橋下市長は新規採用職員発令式(4月2日)で、「あなたたちは国民に命令する立場になった」と訓示。さらに市会(4月13日)では「市役所の組織で、市長の顔をうかがわないで誰の顔をうかがうのか」と述べました。





橋下市長が発表しました！

くらしを破壊し、  
大阪市も地域もこわす

# 市政改革プラン

橋下市長が住民サービスにかかる施策・事業を

今後3年間で削減・廃止する「素案」を発表しました。

くらしや地域社会にとってどうなるのか一緒に考えませんか。

えらい  
こっちゃん



## 「選挙公約」と 違うやん?!

半年前の市長選挙で橋下氏が「維新の会」は  
ビラに「敬老パスはなくしません」「24区、24色  
の鮮やかな大阪市に変えます!」と書いていました。

なのに「素案」では、敬老パスは有料化し、  
老人福祉センターや屋内プールの統廃合を打ち  
出しています。

### DV問題や 男女共同参画に欠かせません

クレオ大阪は、設備が整っていてパン作  
り教室などサークル活動に大人気、もっと、  
施設が必要です。深刻なDV問題(夫や恋人  
からの暴力)の相談事業や男女共同参画を  
進めるうえでかけがえのない施設をつぶさな  
いほうがいいです。 中央区 柿木知子さん

### 陸の孤島をつくらないで!

最寄りのバス停や商店街へ私の足で  
は30分もかかります。まるで陸の孤島の  
ような地域に住んでいる高齢者や障が  
い者、赤ちゃん連れの母親にとって赤バ  
スは命綱です。なくなれば買い物も通院  
もままなりません。赤バスをなくさないで。  
港区 石井ひさ子さん

### 高齢者の健康維持に必要な敬老パス

高齢者は、家に閉じこもりがちになるので、敬  
老パスで外出を支援し、健康維持に役立って  
います。また介護予防にもなります。「有料化」は  
逆に医療費がかさむだけで、公費の節約になり  
ません。 東住吉区 伊藤一正さん

### 市民のくらしに潤い生む 大阪市音楽団は必要です

無料、低料金を基本とした大阪市音楽団は  
90年の歴史があります。「市音」は子どもたちや  
市民のみなさんが豊かな情操、活力と潤いのある  
生活をつくる応援団です。市民ニーズに応える  
事業の打切りはするべきではありません。  
元大阪市音楽団団長 竹原 明さん

### 老人がリフレッシュできる憩いの家

お年寄りに老人憩いの家へ足を運んでい  
ただいてリフレッシュしてもらおうというのが大  
阪市の考えだったはず。わずか40万円の運営  
補助金を半減するなんて無茶ですね。夏や冬  
にはエアコンをいれないと。光熱費もバカにな  
りません。 東淀川区 一柳正義さん  
(前東淀川区豊新地域社会福祉協議会会長)

### 若い人が住みやすい大阪にして

私たち夫婦は、1年前から新婚家賃補助を受け  
ています。今のところ受けている人には補助金は出  
るようですが、出産も控えているし、廃止されたら住  
めなくなります。必要な施設もきちんと維持して、若  
い人が住みやすい大阪にしたいです。  
福島区 焼き鳥店経営 中城義和さん、紫津香さん

若者にも、  
高齢者にも

## あらゆる世代の サービス切り捨て

| 事業名                                                                       | 削減額       | 実施年度   | 事業名                                | 削減額       | 実施年度   |
|---------------------------------------------------------------------------|-----------|--------|------------------------------------|-----------|--------|
| <b>敬老パス事業(5案)の改悪</b>                                                      |           |        | <b>コミュニティ系バス(赤バス)補助削減</b>          | 10億7300万円 | 2013年度 |
| (1)JR・私鉄に拡大、50%負担、上限2万円。                                                  | 50億円      |        | <b>大阪フィルハーモニー協会、<br/>文楽協会補助金削減</b> | 4000万円    | 2012年度 |
| (2)市営交通限定、50%負担、上限なし。                                                     | 48億円      |        | <b>大阪市音楽団の廃止</b>                   | 5200万円    | 2013年度 |
| (3)市営交通限定、年1千円~2万円負担、上限なし。                                                | 14億円      |        | <b>男女共同参画センター(クレオ)廃止</b>           | 4億5600万円  | 2014年度 |
| (4)市営交通限定、年3千円~5千円徴収、上限なし。                                                | 50億円      |        | <b>市民交流センター廃止</b>                  | 10億3300万円 | 2014年度 |
| (5)市営交通限定、30%負担、上限なし。                                                     | 42億円      |        | <b>屋内プール統廃合(24→9カ所)</b>            | 12億2300万円 | 2014年度 |
| <b>上下水道料金福祉措置の廃止</b>                                                      | 39億6600万円 | 2013年度 | <b>スポーツセンター統廃合(24→9カ所)</b>         | 4億7400万円  | 2014年度 |
| <b>新婚世帯向け家賃補助新規募集停止(18年度終了)</b>                                           | 21億7100万円 | 2012年度 |                                    |           |        |
| <b>国民健康保険料の値上げ</b><br>一般会計からの任意繰入の削減による保険料値上げ、<br>市独自の3割軽減廃止、出産一時金の引き下げ。  | 10億6700万円 | 2013年度 |                                    |           |        |
| <b>保育料の軽減措置の改悪</b><br>前年度分の市民税非課税世帯からも保育料を徴収する。<br>保育料を全体として1億5千万円程度引き上げ。 | 1億5000万円  | 2013年度 |                                    |           |        |
| <b>老人憩いの家運営費助成削減</b>                                                      | 5500万円    | 2013年度 |                                    |           |        |

学童保育  
「廃止」を  
撤回に!

今回の素案のもとになった「試案」には、学童保  
育補助金の全廃が掲げられていました。関係者を  
中心にして短期間に13万筆以上の署名を提出。  
素案では廃止が撤回されました。学童保育のいっ  
そうの充実が求められます。

パブリックコメント(意見公募)に応募しましょう!

意見のテーマ・内容を書いて大阪市長に届けましょう!

提出期限 2012年5月29日まで 市政改革 パブコメ 検索 大阪市HPより記入用紙を入手して下さい→

応募先

送付 〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3番20号  
大阪市政府4階 大阪市政改革室改革方針担当

FAX 06-6205-2660

メール kaikakuplan@city.osaka.lg.jp